



神戸女学院大学音楽学部

アウトリーチ通信

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター

2026年3月20日発行

第47号

子どものためのクリスマス・コンサート ～ちいさな魔法とはじまりのメロディ～

日時：11月29日 11時/15時30分（2公演 各60分間）

場所：神戸女学院エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：工藤 万季花・武生 采子（声楽）、龍 咲良（トロンボーン）、
苅屋 知絵梨（ピアノ）、村田 沙耶（ピアノ・オルガン）

※本公演は、既習生を中心に企画・出演しているコンサートです。



今回の公演は、出演者が演奏だけではなく、キャラクターとなって物語形式で進める企画でした。ずっと形にしてみたいと思っていたので、念願叶ってのコンサートです。出演者は皆『音楽によるアウトリーチ』既習生であり、昨年度卒業したばかりのメンバーで結成しました。物語や選曲も含めて、子どもたちが身近に感じられることを大切にしながら展開しました。

舞台はあやねちゃんのお家。観客は、遊びに来てくれたお友達という設定でお話は進みます。工藤が演じた、実は動くことができるお人形のマリーが幕の間から登場し、観客に話しかけるところからコンサートが始まります。“きよしこの夜”の旋律をモチーフにした曲、M.レーガー作曲〈クリスマスの夢〉を大オルガンでの演奏が始まると、どこから音がしているんだろう？と音の在処を探す子どもたちの姿が印象的でした。

そして幕開けです。トロンボーンとピアノの音で、お寝坊さんを起こします。起きてきたあやねちゃんは、楽器に興味津々。〈もろびとこそりて〉で楽器紹介を行いました。それぞれの特徴や、音の鳴らし方、会場にはパイプオルガンが2つあることも、みんなに伝えました。

さくらお姉さんが、クリスマスツリーの準備が終わっていないことに気づき、「このままじゃ、サンタさんからプレゼントがもらえないよ！」とあやねちゃんを急かします。大オルガンで奏でた、J.S.バッハ作曲〈トッカータ 二短調BWV565〉。ガーン、という効果音を思わせる、聞き覚えのあるフレーズから始まるこの曲に、客席からは笑い声も聞こえてきました。この曲を大オルガンのフルバージョンで聴くことは滅多にないかと思うので、子どもたちにとって貴重な機会になっていると良いなと思います。

クリスマスの準備が終わっていないことに焦ったマリーは思わず動き出し、オペラ《ホフマン物語》より〈生垣に小鳥たちが〉を優雅に歌います。途中で止まってしまったマリーのネジを巻いて、再び起こす場面では、小物楽器を使っただけの効果音や、見て楽しめる工夫も施し、子どもたちを惹きつけることができました。

大好きなマリーが動けることを知り、大喜びのあやねちゃん。「せっかくなら一緒に踊らない？」と提案し、チャイコフスキー作曲〈くるみ割り人形〉より〈花のワルツ〉に合わせて、会場の皆さんと手拍子のアクティビティを楽しみ、続けて坂田おさむ作曲の〈どんな色がすき〉を歌いました。途中では観客に好きな色を聞く場面があり、子どもたちは積極的に大きな声で答えてくれました。たくさん遊んでお部屋を散らかしてしまったあやねちゃん。

「お片付けなさい！」と注意するさくらお姉さんを無視して、「私はもっと遊んでいたい！」と自分の世界に入り込んでしまい、オペラ《ロミオとジュリエット》より〈私は夢に生きたい〉を歌います。子ども向けの公演の中での外国語の曲の扱いは難しいですが、今回は、声を持つそのものの魅力や、ワクワクな気持ちを伝えることに徹しました。

その後、さくらお姉さんの怒りは爆発。C.サン＝サーンス作曲〈死の舞踏〉をピアノ連弾で演奏し、怒りを表現しました。本気の演奏を聴いてもらいたい、との想いからカットは最小限にし、熱量たっぷりでお届けしました。さくらお姉さんを怒らせちゃった、と落ち込むあやねちゃんを、マリーが励まします。映画《メリー・ポピンズ》より〈お砂糖ひとさじで〉の、ピアノと小オルガンの音色と、マリーの歌声に乗せられて、あやねちゃんはどンドンツリーを飾り付けていきます。楽しそうな音楽につられてやってきたさくらお姉さんも、トロンボーンの演奏で飾り付けを応援し、全員で盛り上がる場面となりました。会場の皆さんも、手拍子で参加していただき、暖かな雰囲気になりました。

無事に華やかなクリスマスツリーが完成した喜びの中、小オルガンの音色に合わせて、村松崇継作曲〈彼方の光〉をトロンボーンの演奏でお届けしました。途中からあやねちゃんとマリーも思わず歌で参加します。「クリスマスがますます楽しんできてきた！」と〈しあわせなら手をたたこう〉を、会場の皆さんと体を動かしながら楽しみ、最後にはクリスマス礼拝で演奏される、〈天使のキャロル〉を全員で演奏し、穏やかな空気感の中、コンサートを締めくくりました。

それぞれの楽器の魅力が伝わる演奏をすることはもちろん、会場にいる全ての人を巻き込むこと。「ここにいるだけで楽しい」を目指して、今の私たちができる全てを尽くし、試行錯誤しました。このような歴史あるコンサートに企画・出演という立場で携われたこと、とても光栄です。この貴重な経験を活かし、より一層励んでまいります。関わってくださった皆様へ、心より感謝申し上げます。(武生 采子・記)

Program	
1. 〈クリスマスの夢〉 M.レーガー作曲	オルガン
2. 賛美歌 112番 〈もろびとごぞりて〉	歌・トロンボーン・ピアノ・オルガン
3. 〈トッカータ 二短調 BWV565〉 J.S.バッハ作曲	オルガン
4. オペラ《ホフマン物語》より〈生け垣に小鳥たちが〉 J.オッフエンバック作曲	歌・ピアノ
5. 組曲〈くるみ割り人形〉より〈花のワルツ〉 P.チャイコフスキー作曲	トロンボーン・ピアノ
6. 〈どんな色がすき〉 飯田祐也作曲	歌・ピアノ
7. オペラ《ロミオとジュリエット》より〈私は夢に生きたい〉 C.F.グノー作曲	歌・ピアノ
8. 〈死の舞踏〉 C.サン＝サーンス作曲	ピアノ連弾
9. 映画《メリー・ポピンズ》より〈お砂糖ひとさじで〉 R.ツァーマン作曲	歌・トロンボーン・ピアノ・オルガン
10. 〈彼方の光〉 村松崇継作曲	トロンボーン・ピアノ
11. 〈幸せなら手をたたこう〉 アメリカ民謡	歌・トロンボーン・ピアノ
12. 〈天使のキャロル〉 J.ラター作曲	歌・トロンボーン・ピアノ・オルガン



プレザングラン門戸厄神 音楽で巡るあの頃の秋

日時：10月14日 13時45分 (45分間)

場所：プレザングラン門戸厄神 (兵庫県西宮市樋ノ口町2-1-35) 対象者：施設利用者

出演：山下 果歩 (ヴァイオリン)、内野 彩夏 (クラリネット)、上村 茉瑚・吉原 美都 (ピアノ)



プレザングラン門戸厄神
コンサート
～音楽で巡るあの頃の秋～

【日時】
2025年10月14日(火)
13:45～14:30

【出演者】
神戸女学院大学音楽学部
「音楽によるアウトリーチ」履修生

ヴァイオリン 山下 果歩
クラリネット 内野 彩夏
ピアノ 上村 茉瑚
吉原 美都

1.〈小組曲〉第1曲〈小舟にて〉	C.ドビュッシー
2.愛の挨拶	E.モーツァルト
3.クラリネットソナタ第1楽章	C.チャイコフスキー
4.まっかな秋	小林秀雄
5.荒城の月	滝廉太郎
6.華せなら手をたたこう	アヲタカ民謡
7.赤とんぼ	山田耕筰
8.映画《紅毛そば》より 〈カントリーロード〉	B.ワグネル/T.ナイベール/J.デンバー
9.もみじ	岡野貞一
10.時代	中島みゆき
11.見上げてごらん夜の星を	いずみたく
12.故郷	岡野貞一

今回のコンサートでは、「音楽で巡るあの頃の秋」をテーマに、ピアノ・ヴァイオリン・クラリネットの三つの楽器で、クラシックや、日本の秋の歌、懐かしの名曲をプログラムに取り入れました。静かに始まったクラシックの曲では、皆さまが耳を澄ませて聴いてくださり、温かな空気に包まれました。〈幸せなら手をたたこう〉では、音楽に合わせて手をたたいたり足を鳴らしたりと、一緒に体を動かしてくださり、笑顔が次々と広がっていき、私たちも思わず嬉しくなる時間でした。日本の秋の歌は、自然と口ずさんでくださる方が多く、もう少し一緒に歌いやすい編曲にしても良かったと感じました。

美しい秋の景色や、思い出を巡って欲しいという思いで、〈赤とんぼ〉や〈荒城の月〉、〈カントリーロード〉など、秋を感じる曲や懐かしさを感じる曲を演奏し、MCも工夫しました。そっと涙をぬぐわれる方もいらっしゃり、音楽によって誰かの心の景色に寄り添う瞬間に立ち会えたことは、私たちにとっても忘れられない経験となりました。

最後は、〈見上げてごらん夜の星を〉と〈ふるさと〉を利用者の皆さまと一緒に歌い、あたたかい余韻に満ちたままコンサートを締めくくることができました。(吉原 美都・記)

山口幼稚園 こどものためのコンサート うたって!おどって!音楽を楽しもう!

日時：10月21日 10時15分 (35分間)

場所：西宮市立山口幼稚園遊戯室 (兵庫県西宮市山口町下山口4丁目1-5) 対象者：園児、保護者

出演：市川 真理 (声楽)、山下 果歩 (ヴァイオリン)、内野 彩夏・馬先 美七海 (クラリネット)、
菊川 菜々美・高田 優歌・吉原 美都 (ピアノ)



山口幼稚園
こどものためのコンサート
うたって!おどって!音楽を楽しもう!

日時
10月21日(火)
10:15～10:50

出演者
神戸女学院大学音楽学部
音楽によるアウトリーチ履修生

市川 真理
クラリネット 内野 彩夏
ヴァイオリン 山下 果歩
ピアノ 菊川 菜々美
高田 優歌
馬先 美七海
吉原 美都

プログラム

- 山の音楽家 ドイツ童謡
- 夢をかなえてドラえもん 黒澤 賢留
- アンパンマンたいそう 黒澤 賢留
- やさしいもぐりチーパン 田中 賢留
- どんぐりころころ 黒澤 賢留
- 仮面 R.シューマン
- ハンガリー舞曲第五番 J.ブラームス
- 笑顔を地球より J.オフエンバック
- 大きな星の木の葉で イギリス童謡
- 赤とんぼ 山田 耕筰

今回のコンサートは、一緒に踊ったり歌ったりして、より音楽を身近に感じてもらうというテーマで行ないました。1曲目の〈山の音楽家〉では、楽器紹介を交えながら演奏しました。クラリネットやヴァイオリンを夢中で見ている園児がいて、楽器そのものに興味をもってくれたのが伝わってきて嬉しかったです。〈夢をかなえてドラえもん〉や〈アンパンマンたいそう〉などの知っている曲が始まると、一気にテンションが上がり、体をめいっぱい動かしながら楽しんでくれました。〈焼きいもグーチーパー〉では、ジャンケンのたびに歓声が起り、勝った子や座って応援する子、それぞれがその場を楽しんでくれているのが伝わってきました。

そして1番印象に残ったのは、指揮者体験のコーナーです。お手本を見ているときのまっすぐな視線や、実際に前に立って指揮を振ってくれた子の緊張している表情、周りの子の応援など、会場全体が1つになって音楽をつくっている空気感は、なかなか味わうことのできない貴重な体験でした。

クラシックの曲では静かに耳を傾けてくれる姿も見られ、子どもたちの表情が音楽に合わせてやわらかく変わっていくのがとても印象的でした。終わったあと、たのしかったと声をかけてくれた子もいて、胸がいっぱいになりました。今回のコンサートで、音楽を通して心が近づく瞬間をいくつも感じる事ができ良かったです。(菊川 菜々美・記)

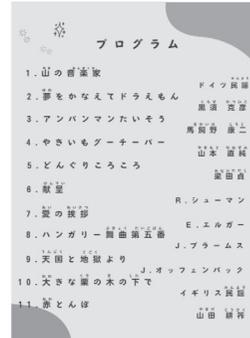
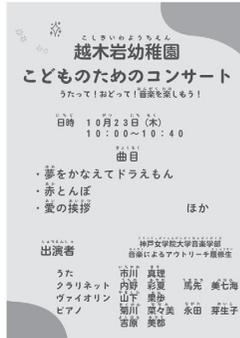
越木岩幼稚園 こどものためのコンサート うたって！おどって！音楽を楽しもう！

日時：10月23日 10時（40分間）

場所：西宮市立越木岩幼稚園（兵庫県西宮市美作町6-10） 対象者：園児

出演：市川 真理（声楽）、内野 彩夏・馬先 美七海（クラリネット）、山下 果歩（ヴァイオリン）

菊川 菜々美・永田 芽生子・吉原 美都（ピアノ）



今回の公演では、事前に幼稚園の方から「こどものうた、ディズニー、ドラえもん、TikTok系で流行っている曲を」とリクエストをいただいていたため、子どもたちがよく知っている曲や、一緒に歌ったり体を動かしたりできる曲を多く取り入れました。実際に〈夢をかなえてドラえもん〉〈やさしいグーチャーパー〉では元気いっぱいに歌ってくれ、〈アンパンマン体操〉〈大きな栗の木の下で〉では音楽に合わせて体を思いきり動かしてくれました。一方で、歌や楽器によるクラシックや童謡演奏の時間には自然と静かに耳を傾けてくれ、子どもたちなりに聴く時間を楽しんでくれていた様子が伝わり、プログラムに緩急をつけて良かったと感じました。

今回の公演では、指揮者体験のコーナーも設けていました。少し緊張した表情で前に出てきた子が、みんなの方を向いてお辞儀をし、指揮を始めた姿はとても愛らしく、会場全体が温かい空気に包まれました。こちらの合図に合わせて一生懸命腕を振り、最後に「楽しかった！」と笑顔で話してくれた姿はとても微笑ましかったです。音楽をただ聴くだけでなく、実際に体験してもらうことで、子どもたちにとっても忘れられない思い出になってくれていたら嬉しいです。

(山下 果歩・記)

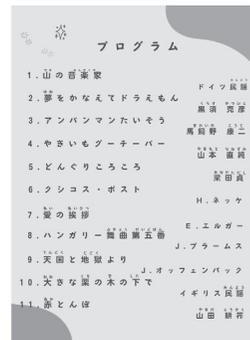
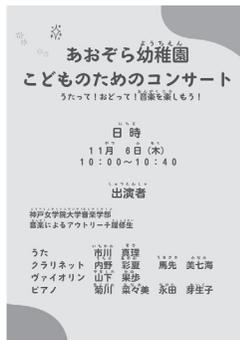
あおぞら幼稚園 こどものためのコンサート うたって！おどって！音楽を楽しもう！

日時：11月6日 10時（40分間）

場所：西宮市立子育て総合センター付属あおぞら幼稚園（西宮市津田町3-40） 対象者：園児、保護者

出演：市川 真理（声楽）、山下 果歩（ヴァイオリン）、内野 彩夏・馬先 美七海（クラリネット）、

菊川 菜々美・永田 芽生子（ピアノ）



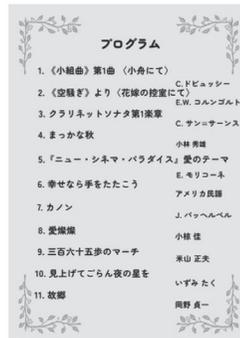
今回のコンサートは、同じプログラムで行う3回目のコンサートでした。これまでの反省をふまえて改善したことを実際に試す良い機会になりました。前回まででうまくいかなかったところを振り返り、曲のつなぎ方や説明の順番、立ち座りの声掛けなどを見直したことで、全体の流れがよりスムーズになったように感じました。特に、MCの声掛けのトーンや間を意識すると、子どもたちの集中がぐっと集まったり、場がまとまったりする瞬間があり、言葉の届け方の大切さをあらためて実感しました。また、前もって準備することの大切さも強く感じました。メンバー同士で細部まで決めて共有していたことで、曲の切り替えや説明がスムーズに進みました。しかし、当日の子どもたちの反応は毎回違うため、状況に合わせて説明を短くしたり、逆にゆっくり進めたりと、臨機応変な対応も重要だと思いました。〈アンパンマンたいそう〉や〈大きな栗の木の下で〉では、子どもたちの動きに合わせてテンポを変え、あえて少し待つ時間をつくったことで、全員が参加しやすい雰囲気になりました。〈やさしいグーチャーパー〉のジャンケンでは、子どもたちの盛り上がりに合わせて声かけを変えたことで、会場全体がさらに明るくなったように感じました。今回のコンサートを通して、事前準備をしっかり行うこと、その場の空気を読みながら柔軟に動くことの両方が大切だということを、より深く学ぶことができました。（菊川 菜々美・記）

野木病院 オータムコンサート

日時：11月15日 14時（45分間）

場所：医療法人社団佳生会 野木病院（兵庫県明石市魚住町長坂寺 1003-1） 対象者：施設利用者

出演：山下 果歩（ヴァイオリン）、大峰 希良・馬先 美七海（クラリネット）、菊川 菜々美・吉原美都（ピアノ）



今回のコンサートではクラシックから歌謡曲、童謡までの幅広い名曲をクラリネット、ヴァイオリン、ピアノの多様な音色と共に、懐かしさや温かさ、思い出が自然と溢れる時間を届けることを目的としました。

まず、各楽器の紹介として、ピアノ連弾でドビュッシー《小組曲》第1曲〈小舟にて〉、ヴァイオリンでコルンゴルト《空騒ぎ》より〈花嫁の控室にて〉、クラリネットでサン＝サーンス〈クラリネットソナタ第1楽章〉を演奏しました。次に〈まっかな秋〉を演奏しました。今回は楽器のみのコンサートということで童謡でもいつもとは少し違うおしゃれな雰囲気を楽しんでいただけるよう、自分たちでアレンジを考え、工夫しました。次にモリコーネ『ニュー・シネマ・パラダイス』〈愛のテーマ〉を演奏し、〈幸せなら手をたたこう〉で皆様と音楽に合わせて身体を動かして楽しみました。続いてパッヘルベル〈カノン〉を演奏しました。曲に合わせて身体を揺らして音楽を楽しんでくださっていたり、優しい表情でじっと耳を傾けてくださる方もおられ穏やかなひとときを感じられました。次に小椋 佳〈愛燦燦〉、米山 正夫〈三百六十五歩のマーチ〉、いずみ たく〈見上げてごらん夜の星を〉、最後に岡野 貞一〈故郷〉を演奏し、皆様と身体を動かしたり歌を歌いました。故郷では涙を流している方も見かけ、音楽も持っている人を癒す力を改めて実感しました。今回のコンサートを通して音楽には人を癒す力や心を豊かにする力を感じ、演奏を通してその空気感が会場に広がっていくのを感じました。私たちの演奏が少しでも心の支えになれていたらいいなと改めて感じました。（馬先 美七海・記）



西宮阪急 4F 西宮阪急17周年協奏コンサート ～親子で参加！体験コンサート！～

日時：11月16日 11時（30分間）

場所：西宮阪急 4階コミュニティルーム（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：親子（事前申込制）

出演：市川 真理（声楽）、菊川 菜々美・永田 芽生子・吉原 美都（ピアノ）



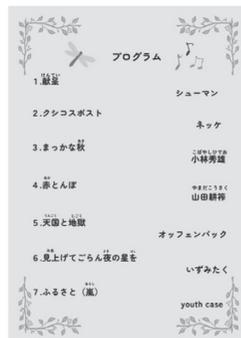
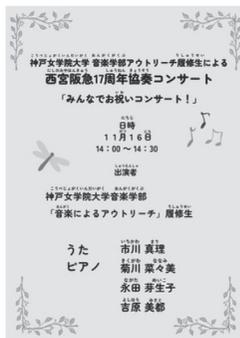
体験コンサートということで、馴染みのある曲や楽器体験等を通して、親子共に楽しめるようなプログラムを構成しました。まず初め、〈さんぽ〉に合わせて演奏者の自己紹介をしたり、〈アンパンマン体操〉に合わせて一緒に踊ったりし、会場に明るい雰囲気が出来ました。次に、〈幸せなら手をたたこう〉に合わせて打楽器を鳴らす楽器体験をしてもらいました。親子共に笑顔で楽しそうに鳴らしてくれていたのが嬉しく思いました。次に〈どんぐりころころ〉と一緒に歌いました。間奏で、大学で拾ったどんぐりを1組に1袋プレゼントしました。このコンサートが終わってからでも楽しんでもらえるようにと、1つ1つのどんぐりに違った表情の顔を描いて渡しました。続いて、〈きらきら星〉を演奏しました。トーンチャイムを使った演奏だったため、普段目にしないトーンチャイムの、柔らかく美しい音色を感じてもらえたのではないかと思います。最後に、手話をつけながら〈にじ〉を演奏しました。演奏後、涙を流しながら「感動しました。」と伝えてくださった方がいて、嬉しく思うと同時に音楽の力の凄さを改めて実感しました。楽器体験やトーンチャイムでの演奏など、はじめてのことが多かったため不安は少しありましたが、親子共に楽しんでくれている様子だったので良かったです。（永田 芽生子・記）

西宮阪急 3F 西宮阪急17周年協奏コンサート ～みんなでお祝いコンサート！～

日時：11月16日 14時（30分間）

場所：西宮阪急 3階プロモーションスペース（兵庫県西宮市高松町14-1） 対象者：一般のお客様

出演：市川 真理（声楽）、菊川 菜々美・永田 芽生子・吉原 美都（ピアノ）



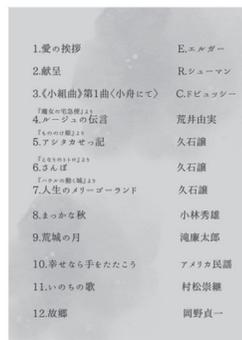
一般のお客様が気軽に立ち寄って楽しんでいただけるよう、よく知られたクラシック曲や秋の歌を中心にプログラムを構成しました。まず初めに〈獻呈〉を演奏しました。ドイツ語での演奏だったので、ドイツ語ならではの魅力を感じてもらえたのではないかと思います。次は、〈タシコスポスト〉と〈天国と地獄〉を続けて連弾で演奏しました。2人で息を合わせて演奏するスピード感や迫力を楽しんでもらえたのではないかと思います。次は、〈幸せなら手をたたこう〉を演奏しました。多くのお客様と一緒に参加をしてくださったので、会場が一体感に包まれ、温かい雰囲気になりました。次は、一緒に歌うコーナーとして〈まっかな秋〉〈赤とんぼ〉〈見上げてごらん夜の星を〉を続けて演奏しました。歌い継がれてきた日本の名曲をお客様と一緒に歌うことができ嬉しかったです。次に、〈ふるさと（嵐）〉を演奏しました。涙を流して聴いてくださる方もいて、音楽を通して想いを共有できたのだと感じ、感動しました。そして最後にアンコールとして、〈にじ〉を演奏しました。幅広い年代の多くのお客様に立ち寄っていただき、素敵なコンサートにすることができました。（永田 芽生子・記）

中央市民病院 院内コンサート 音で紡ぐ幸せなひととき

日時：11月20日 15時（45分間）

場所：神戸市医療センター中央市民病院 1階講堂（兵庫県神戸市中央区港島南町2丁目1-1） 対象者：入院患者、外来患者

出演：市川 真理（声楽）、山下 果歩（ヴァイオリン）、上村 菜瑚・高田 優歌・吉原 美都（ピアノ）



今回、音楽を通して入院患者さんや通院患者さん、ご家族の方に心の安らぎと笑顔を届け、日常から少し離れた温かな時間を共有することを目的として、神戸市立医療センター中央市民病院にてアウトリーチ公演を行いました。病院という場所での演奏は、普段のコンサートホールとは異なり、さまざまな状況の方がそれぞれのペースで音楽に触れる空間であると感じました。そのため私たちのグループでは、心が落ち着き、親しみやすい時間を過ごしていただけたらという、日本の歌やジブリ作品、クラシックなど幅広い曲を取り入れたプログラムを構成しました。演奏中には、目を閉じて聴いてくださる方や笑顔で聞いてくださる方が多く、音楽が心に寄り添っていることを実感しました。特に、「幸せなら手をたたこう」では、手拍子や体の動きを通して多くの方が一緒に楽しんでくださり、会場が温かい雰囲気に包まれました。

また、アンケートでは「病気を忘れる時間になった」「今日の日を心待ちにしていた」といった言葉をいただき、音楽の持つ力を改めて感じました。今回の経験を通して、演奏技術だけでなく、相手の状況に寄り添いながら音楽を届けることの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。（上村 菜瑚・記）

すすく学級 クリスマスコンサート



日時：12月8日 11時(30分間)

場所：芦屋市すすく学級（兵庫県芦屋市楠町16-1） 対象者：園児

出演：大峰 希良・内野 彩夏・馬先 美七海(クラリネット)、上村 茉瑚・高田 優歌 (ピアノ)



プログラム	
1. ジングルベル	J. L. ヒアポイント
2. 映画《塔の上のラプンツェル》より 《輝く未来》	A. メンケン
3. ハンガリー舞曲第5番	J. ブラムス
4. 幸せなら手をたたこう	アメリカ民謡
5. カノン	J. バッハ

6. 映画《アナと雪の女王》より 《レット・イット・ゴー》	K. A. ロベス R. ロベス
7. あわてんぼうのサンタクロース	小林聖星
8. 雪だるまのチャチャチャ	多志賀明
9. そりすべり	L. アンダーソン

今回は、音楽を通じて季節の楽しさや雰囲気を感じ取ったり、音楽の魅力や表現する喜びを感じてもらうことを目的としたプログラムを、クラリネットとピアノの演奏で実施しました。

まずはじめに〈ジングルベル〉を演奏しました。演奏が始まると、子どもたちは静かに耳を傾けたり、体を揺らしてリズムを感じたりと、それぞれの形で音楽を受け止めている姿が見られました。知っている曲を演奏すると表情が明るくなり、自然と笑顔になる様子が印象的でした。

また、演奏者が楽器について紹介する場面では、音が出る仕組みに興味を持ち、じっと見つめたり、音の変化に驚いたりする反応がありました。クラリネットについての紹介では楽器の名前を覚えて、何回も復唱してくれたことがうれしかったです。音楽を「聴く」だけでなく、「感じる・参加する」時間となり大変よかったと感じました。音楽を通じて、子どもたちの楽しんでくれる姿や笑顔を見ることができてとてもうれしかったです。（大峰 希良・記）

高木幼稚園 クリスマスコンサート

日時：12月12日 10時 (40分間)

場所：西宮市立高木幼稚園（兵庫県西宮市伏原町3-40） 対象者：園児

出演：中村 心春(フルート)、内野 彩夏・馬先 美七海(クラリネット)、上村 茉瑚・高田 優歌(ピアノ)



プログラム	
1. ジングルベル	J. L. ヒアポイント
2. 映画《塔の上のラプンツェル》より 《輝く未来》	A. メンケン
3. 生命の奇跡	村松崇継
4. ハンガリー舞曲第5番	J. ブラムス
5. 幸せなら手を叩こう	アメリカ民謡

6. カノン	J. バッハ
7. 映画《アナと雪の女王》より 《レット・イット・ゴー》	K. A. ロベス R. ロベス
8. あわてんぼうのサンタクロース	小林聖星
9. 雪だるまのチャチャチャ	多志賀明
10. そりすべり	L. アンダーソン

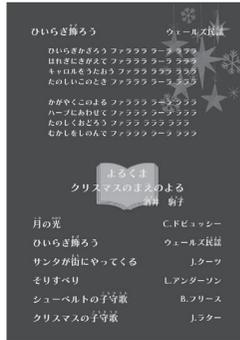
高木幼稚園でのクリスマスコンサートでは、クリスマスの曲やクラシック音楽を取り入れながら、子どもたちが親しみやすい曲目を中心に演奏しました。冒頭の〈ジングル・ベル〉の連弾が始まると、クリスマスらしい明るい雰囲気に包まれ、子どもたちは歌ったりしながら楽しそうに聴いていました。〈輝く未来〉や〈生命の奇跡〉、〈カノン〉では、フルートやクラリネットの柔らかな音色に静かに耳を傾け、音色の違いを楽しみながら、真剣に聴いてくれる様子印象的でした。〈ハンガリー舞曲第5番〉では指揮者体験を実施し、子ども達も自分の指揮に合わせて音楽が変化する様子を楽しんでくれました。〈幸せなら手を叩こう〉ではアクティビティをおこない、手拍子や掛け声で積極的に参加してくれ、演奏者と子どもたちが音楽でつながる感覚を味わうことができました。後半の〈あわてんぼうのサンタクロース〉や〈雪だるまのチャチャチャ〉では、多くの子ども達が大きな声で歌ってくれ、最後の〈そりすべり〉は出演者全員で演奏し、会場が一体となって盛り上がりました。子どもたちが音楽を楽しんでくれている反応から、音楽の楽しさを直接届けることの大切さを改めて実感する貴重な機会となりました。（中村 心春・記）

西宮阪急 クリスマス 絵本の読み聞かせとコンサート

日時：12月13日 11時 (30分間)

場所：西宮阪急 4階えほんのへや (兵庫県西宮市高松町14-1) 対象者：親子 (事前申込制)

出演：市川真理 (声楽)、山下果歩 (ヴァイオリン)、吉原美都 (ピアノ)



今回のコンサートは、絵本の物語と音楽を組み合わせることで、登場人物の気持ちや物語の世界観をより深く味わってもらうことを目的として実施しました。そのため、本の内容に合わせて選曲や音量、演奏の間、効果音などを工夫し、聴き手が自然と物語の世界に入り込めるよう、メンバーで構成を熟考しました。楽しさを重視してアクティビティーを入れすぎると、かえって絵本の世界観を損なってしまうため、そのバランスを取ることは苦戦しました。当日は、子どもたちが静かに耳を傾けてくれていたのが印象的で、音楽と絵本が相互に作用する力を実感することができましたが、一方で、より参加型にした方が子どもたちの集中が続いたのではないかという思いもあり、アクティビティーとのバランスについては簡単に答えを出せないものだと感じます。しかし、子どもたちの惹きつけ方はアクティビティーだけでなく、語りの間や音の使い方、空間のつくり方など、他にも多くの工夫ができる、ということも感じました。今回の経験を糧に、今後も多様な惹きつけ方を考え、試していきたいと思えます。(吉原 美都・記)

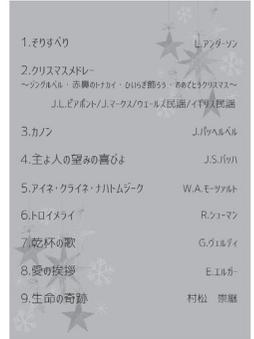
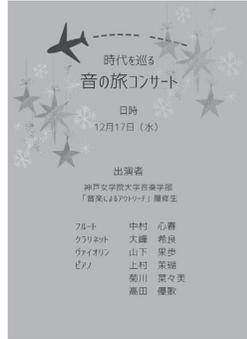


雲雀丘学園小学校 時代を巡る音の旅コンサート

日時：12月17日 9時 (40分授業×4回)

場所：雲雀丘学園小学校 道しるべ音楽室 (兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1) 対象者：4年生 4クラス

出演：菊川 菜々美・高田 優歌・上村 茉瑚 (ピアノ)、山下 果歩 (ヴァイオリン)、中村 心春 (フルート)
大峰 希良 (クラリネット)



今回のアウトリーチでは、小学4年生を対象としたコンサートを行いました。授業の一環として訪問したため、単なる鑑賞にとどまらず、学びのあるアウトリーチとなるよう心がけました。音楽が歩んできた時代ごとの特徴や表現の違いを、演奏を通して体験的に理解してもらうことを目的とし、それぞれの時代を当時の日本の様子と結びつけながら解説することで身近に感じてもらえるよう工夫しました。パワーポイントを使い視覚的にも理解しやすい構成にし、楽器紹介では発問を取り入れ、実際の吹き方を伝えるなど親しみやすい内容を心がけました。児童たちは静かに鑑賞しながらも「この曲知っている！」と反応してくれ、特に〈アイネ・クライネ・ナハトムジーク〉では「休み時間に流れている！」との声が上がると、クラシック音楽に親しみのある学校であることを感じました。苦戦した点は、6人の予定を合わせて練習を行うことや、授業形式で進めるため全体の流れを共有し円滑に進行すること、他のアウトリーチ公演への出演が多い中で練習時間を確保することでした。本公演では最初にクリスマス曲を演奏し、明るく楽しい雰囲気を作ったことで児童の興味を引くことができたと感じています。室内楽形式で演奏した〈アイネ・クライネ・ナハトムジーク〉は特に迫力があり、最も大きな拍手をいただきました。改善点は、盛り上がった場面から次へのつなぎ方や、連続公演における体面です。これまでの幼稚園や医療施設での演奏とは違う、小学校での課外授業のような形式から、また新たに多くの学びを得ることができました。(高田 優歌・記)

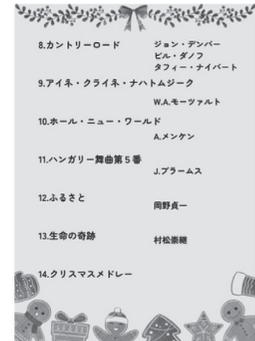
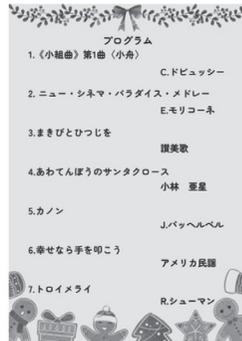
北摂総合病院

日時：12月20日 15時30分（40分間）

場所：社会医療法人仙養会 北摂総合病院（大阪府高槻市北柳川町6-24）

対象者：利用者（入院患者、家族）

出演：中村 心春（フルート）、大峰 希良・馬先 美七海（クラリネット）、上村 茉瑚・永田 芽生子・吉原 美都（ピアノ）



北摂病院での音楽アウトリーチでは、入院中の方やそのご家族、医療スタッフの皆さまに向けて演奏を行いました。病院という日常とは異なる環境の中で、音楽がどのように届くのかを常に考えながら、一音一音に気持ちを込めて演奏しました。演奏が始まると、最初は静かに耳を傾けていた方々が、次第に体を揺らしたり、表情がやわらいだりする様子が見られ、音楽が心に寄り添っていることを実感しました。

演奏後には「元気をもらいました」「久しぶりに楽しい気持ちになれました」と声をかけていただき、音楽の持つ力の大きさを改めて感じました。また、相手の体調や状況に配慮し、音量や曲調、演奏時間を調整することの大切さも学びました。言葉でのやりとりが難しい場面でも、音楽を通して気持ちが通じ合う瞬間があり、音楽は人の心にそっと寄り添える存在であると再認識しました。今回の経験を今後の演奏活動やアウトリーチに活かし、より多くの人に音楽のあたたかさを届けていきたいです。（大峰 希良・記）



音楽によるアウトリーチ 実習を履修した 4年生より



音楽によるアウトリーチ 実習（4年生） 担当教員：稲本 渡



菊川 菜々美

実習の回数を重ねる中で、状況に応じた話し方や内容を考えることの大切さを感じました。一緒に演奏するメンバーと様々な場面を想定し何度も話し合いながら公演を作り上げるのは大変でしたが、良い経験になりました。



中村 心春

1年間のアウトリーチ公演を通して、音楽を一方的にただ聴いてもらうだけでなく、演奏者とお客様が一緒に音楽の楽しさを共有することの大切さを感じました。音楽を通してたくさんの人が喜んでくださった姿が印象的でした。



永田 芽生子

授業や実習を通して、多くのことを学びました。その中でも特に印象的だったのは、同じ曲やプログラムであっても、施設や聴衆によって反応が大きく異なり、全く違う公演になるということです。仲間と話し合いながら取り組み演奏することの大切さや楽しさも学びました。



大峰 希良

授業を通して、演奏技術だけでなく「相手に届ける」ことの大切さを学びました。年齢や背景、季節などに応じた関わりを考える中で音楽が人と人を繋ぐ力を改めて実感することが出来ました。貴重な経験をありがとうございました。



高田 優歌

幼稚園や小学校、病院、大学内でのアウトリーチ演奏会を通して、対象や場に合わせた演奏会づくりの難しさを学びました。プログラム作成や編曲、曲紹介文の作成など、実践を通して音楽を多角的に学び、持ち曲も増えました。大変なことも多くありましたが、それ以上に多くの学びと思い出を得ることができました。



市川 真理

大学という場所から一步外に出て演奏することは私にとってとても勇気のいることでしたが、このアウトリーチの活動をするにより、演奏者として、聞いてくださる人に楽しんでもらうためにはどうすればいいかを考える貴重な機会になりました。ありがとうございました。



馬先 美七海

音楽を演奏者から一方的に届けるものではなく、聴いてくださる方々の反応や空気感と共に創り上げていくものだと実感した。音に合わせての手拍子や、笑顔を見せてくださる様子から音楽が場の空気を和らげ、人と人とを繋ぐ大きなパワーを持っていることを改めて感じた。



上村 茉瑚

演奏すること以上に「何を目的とするか、何を伝えたいか」を考える大切さを学びました。対象や場面に合わせて音楽を届ける難しさやMCを工夫しながら演奏する難しさを感じる一方で、笑顔で聴いてくださる方達の反応にとっても励まされ、私自身、音楽への向き合い方を広げられた授業でした。



内野 彩夏

アウトリーチの授業では、幼稚園やデイサービスなど、さまざまな施設で演奏する機会をいただきました。実際に演奏する中で、ただ音楽を演奏するだけでなく、「音楽を通して何を届けたいのか」を考えることの大切さを学びました。



山下 果歩

聴いてくださる方の近くで演奏する機会が多く、反応を直接感じられたことは、大変貴重な学びとなりました。様々な演奏の場を通して、音楽を届ける相手や場面に応じたプログラムを考える大切さを学ぶことができました。



吉原 美都

アウトリーチの実習を通して、音楽の力を実感するとともに、自分に何ができるのかを考える貴重な機会となりました。仲間とコンサートを作り上げる時間はかけがえないもので、責任感を持って取り組む中で多くの学びを得ました。これからも生かしていきたいと思います。



音楽によるアウトリーチ 講義 (3年生)
担当教員：谷田 奈央

ゲストティーチャー講義

2026年1月23日 (金)

あべ よしえさん

2026年1月23日、サックス&バルーンパフォーマーのあべよしえさんをゲストティーチャーとしてお迎えし、講義を行いました。

インパクトのある音楽〈Miracle Shot〉に合わせて、赤い衣装に身を包んだあべさんがサックスを演奏しながら登場。最初は緊張した面持ちだった学生たちも、テンポよく進むあべさんのバルーンパフォーマンスに次第に引き込まれていく様子が印象的でした。

パフォーマンスの後は、ご自身の活動の歩みを振り返りながら、個性の生かし方や仕事を広げる工夫、個人の演奏活動で大切な自己プロデュース力、そして現場での人との関わり方について、お話いただきました。卒業後の活動に役立つヒントがたくさん詰まった講義でした。



2026年1月9日 (金)

矢巻 正輝さん

2026年1月9日、大阪交響楽団副首席トロンボーン奏者の矢巻正輝さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、講義を行いました。

講義では矢巻さんの演奏する楽曲に合わせたMCを考えるなど、実践を想定したワークにも取り組みました。矢巻さんが実際のアウトリーチの現場で行っている、子どもたちの素直な反応を引き出す仕掛けが講義内でも随所にちりばめられており、学生たちもいつの間にか引き込まれていきました。会場の空気を自在に操るプロの技を身をもって体感することとなりました。

演奏家としての真摯な姿勢は、これまで学んできた自身の表現を社会に活かしていくかを考えていく4年生に響く講義でした。



- 6月10日 西宮市立夙川幼稚園
- 6月18日 西宮市立門戸幼稚園
- 6月20日 ソリオ宝塚
- 7月 5日 子どものための七夕コンサート (シリーズ第70回)
- 10月14日 プレザングラン門戸厄神
- 10月21日 西宮市立山口幼稚園
- 10月23日 西宮市立越木岩幼稚園
- 11月 6日 西宮市立子育て総合センター附属あおぞら幼稚園
- 11月15日 野木病院デイケア
- 11月16日 西宮阪急(午前：4階コミュニティルーム 午後：3階プロモーションスペース)
- 11月20日 神戸市立医療センター 中央市民病院
- 11月29日 子どものためのクリスマス・コンサート (シリーズ第71回)
- 12月 8日 芦屋市立すくすく学級
- 12月12日 西宮市立高木幼稚園
- 12月13日 西宮阪急(4階えほんのへや)
- 12月17日 学校法人雲雀丘学園 雲雀丘学園小学校
- 12月20日 北摂総合病院
- 2月23日 スペシャル・コンサート (シリーズ第72回)
- 3月 3日 芦屋市立岩園幼稚園【3年生】(予定)
- 3月 5日 芦屋市立宮川幼稚園【3年生】(予定)
- 3月15日 西宮市立中央図書館(予定)
- 3月28日 西宮市立甲東小学校(予定)



音楽をお届けします

「アウトリーチ」とは、「一歩踏み出すこと」「手をさしのべること」。
ホールや劇場といったコンサート従来の枠にとらわれずに、
社会のさまざまな場所にすてきな音楽プログラムをお届けします。

幼稚園・小・中学校へ：総合的学習支援プログラムとして、子どもたちに楽しい音楽体験を！
病院や美術館へ：催しの趣旨に合わせた音楽プログラムを、心を込めてお届けします。

お問い合わせ

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター (火～金 10:00～15:00)
〒662-8505 西宮市岡田山4-1 TEL: 0798-51-8584 FAX: 0798-51-8551
E-mail: outreach@mail.kobe-c.ac.jp <https://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/outreach/>